

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月10日更新

事務事業名		市主催等行事託児事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 上原 哲也
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	生涯学習課	担当者名 上村 祐一郎
	基本事業	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	生涯学習班	(内線) 1508
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 11527	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	基本的にヴィーブルで行う市主催及び共催事業に関し、託児を行うことで子育て家庭でも参加しやすい環境を整備することで、市主催講演会等の集客の向上を図るとともに、行事・イベント等を推進することを目的とする事業。 NPO法人ぼっぼの部屋に委託し、必要な場合に保育士の派遣を受けて運営する。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①事業施工伺い ②事業契約事務 ③事業委託支出関係事務 ④託児対応 ⑤請求 ⑥支払い事務
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	市民からは市が主催する講演会や研修会に参加したいが子どもがいて参加できない、との意見がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) NPO法人及び市社協に委託契約し、ヴィーブルで実施する市主催等行事のうち託児が必要と思われる行事に保育士を派遣してもらいヴィーブル内託児室で託児を実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → ア 託児を行った事業数 イ 保育を行った延べ保育士数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人 → ア 子どもがいることで参加できない保護者のうち託児を希望する保護者数 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 人 → ア 託児ができた保護者数 イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 現状値については、ヴィーブル文化会館で開催される市主催事業を10月から10公演として1回当たり10人の保育希望者がいると予想し算出した。目標値については、年間1公演につき2人の増加があると想定して算出した	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 回		0	0	10	6	20	20	20
	イ 人		0	0	40	17	80	80	80
② 対象指標	ア 人		0	0	100	100	200	200	200
	イ								
③ 成果指標	ア 人		0	0	100	24	200	200	200
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円				27	58	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円				27	58	144
人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	54	116	144	144
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	0	0	119	0	144	144	0
正規職員従事人数	人		0	0	1	0	1	0	
延べ業務時間	時間		0	0	30	0	35	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	119	54	260	288	144

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	市主催等行事託児事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						